



ふれあい工房後援会便り

第43回 令和2年8月10日 発行

指定障害福祉サービス事業所

ふれあい工房

第2ふれあい工房

電話 0846-67-5666 電話 0846-67-5117  
FAX 0846-67-5667 FAX 0846-67-5118

## 新しい生活様式と障がい者支援



ふれあい工房 所長 池本善典

日々暑さが増し、マスクのわずらわしさも同時に増しております。一旦は落ち着きかけた新型コロナウイルスは、再び勢いを増して全国に拡大を始めました。この得体の知れない、目に見えない怪物との戦いは一体いつまで続くのでしょうか。スタッフは3密を避け、施設内外の換気・消毒に明け暮れる毎日です。

そうネガティブに考えると底なしに暗くなってしまうかもしれませんが、コロナ禍も悪いことばかりではないと思うようにしています。例えばこれまで法人や事業所で行っていたほとんどの会議が自粛期間中は中止となりました。その代わりに本当に必要な会議や研修会は何かを考えられるようになりました。

本当に必要な会議や研修会を、3密を避けてWEBを活用して行っていく。これまでもやろうと思えば出来ていたことを可能とするキッカケをコロナ禍は作ってくれました。ウイズ・コロナ時代・・・ポジティブに捉えて、新しい障がい者支援の生活様式(ニューノーマル)の構築に取り組んで行こうと思います。



## コロナ対策と新しい生活様式の実践

### 『手洗いの強化』



ご利用者に手洗いの手順を、写真で分かりやすく解説したツールを作成しました。



### 『ソーシャルディスタンス』



フレスタにあるベーカリーショップ『HOGALAKA』では、レジ前でディスタンスを取ったり、ビニールシートの貼り付け等、対策を行っています。

### 『ネットの動画活用』

グループホームでは、外出自粛での運動不足解消と余暇の充実を工夫しています。インターネットを活用してユーチューブの動画を観ながら体操やダンスを楽しんだり、いつでもお笑い動画や映画、コンサート鑑賞ができるようにしています。

### 『WEB会議・研修』



これまで当たり前で大勢で集まっていた会議や研修の有り方を見直しました。参加人数が10名を越える会議は、Zoom等を活用して運営しています。これからは必須のツールになりそうなので、慣れて行きたいです。



## ～感謝～ 送迎車が新しくなりました！(共同募金民間福祉団体配分金)

2005年から送迎車として活躍してくれていた旧ハイエースですが、走行距離は28万kmを越え、ここ数年は老朽化が進んでいました。

それに伴い、令和2年7月30日に新しいハイエースが送迎車としてふれあい工房に納車されました。今回の整備事業の一部を広島県共同募金会様より『共同募金民間福祉団体配分金』という形でご支援頂きました。



## 多機能型を活かした日中活動



生活支援課 課長 山中 武

ふれあい工房生活支援課は現在、重度の障がいのある方が利用する『生活介護事業』、主にパン作りを通してご利用者の就労場面を支援する『就労継続支援B型事業』の2つの事業で構成されています。(多機能型)

今年度から上記の2事業の一体的運営を強化し、ご利用者がこれまで以上に多くの選択肢の中から活動を選ぶことが出来る体制が整いました。活動の選択肢が広がることで、新たな成長のチャンスが生まれます。



ソーシャルスキル  
トレーニング



卓球



心身を整える  
ヨガ療法



権現山を歩く



創作活動



パン作り、販売、清掃等の就労活動

療育音楽や作業療法等の専門家の方も関わってくれます！



体を動かすメニューも沢山あるのでうれしいです！

## 今年もブルーベリーの収穫頑張ってます！



第2ふれあい工房 (農作業、食品加工部門)

就労支援課 課長 平本雅也

7月上旬から本格的にブルーベリー収穫が始まりました。お客様より、主に贈答用として生食ブルーベリー約400kgのご注文を頂いております。暑い中での作業になりますが、日々収穫、選別、出荷に励んでいます。ブルーベリー収穫時期には、ふれあい工房各課からの応援や、ふれあい工房家族会による選別作業のご協力があり、ご注文頂いた生食ブルーベリーを出荷することができました。これから8月中旬頃までブルーベリーの収穫は続きます。ブルーベリージャムやソースの材料となる加工用ブルーベリーを収穫していきます。

第2ふれあい工房就労支援課食品加工班が作っている、ブルーベリージャムやソースをお客様に安心して買って頂けるように、これからもご利用者、職員が協働して頑張ります。



ブルーベリー収穫作業の様子



ブルーベリー出荷作業の様子



加工用ブルーベリー洗いの様子



ブルーベリージャム製造の様子



## 第10回ふれあい工房後援会定期総会が開催されました。

令和2年6月30日(火)、第2ふれあい工房にて開催いたしました。今回は新型コロナウイルス対策の観点から規模を縮小して開催いたしました。席の配置を工夫して、ソーシャルディスタンスを保ち、3密を避けながら進行了しました。



## ふれあい工房後援会 年会費納入のお願い

ふれあい工房後援会は、「ふれあい工房」の活動を物心両面において後援するための諸活動を行うことを目的としています。皆様にご理解をいただき、下記のとおり年会費の納入をよろしくお願いいたします。

**一般会員 1口 年額1,000円**

**法人会員 1口 年額5,000円**

### ふれあい工房商品券の発行

ふれあい工房関連事業全店(ホガラカ、アルファ、ふれあい工房、第2ふれあい工房等)で利用出来る商品券を、一般会員の方に200円、企業会員の方に400円、同封しております。是非この機会にご利用ください。

### ◆年会費納入方法について

恐れ入りますが、同封の振込み用紙にてお振込みください。  
※既に今年度会費納入済みの方にも入れ違いに振り込み用紙を同封している場合がありますが、ご容赦ください。

令和元年度 ふれあい工房後援会収支決算書				
自 平成31年4月1日				
至 令和2年3月31日				
収入の部		(単位 円)		
内 容	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
前年度繰越金	199,000	199,244	△ 244	
令和元年度年会費	400,000	412,000	△ 12,000	一般会員 136件 (1,000×202口=202,000) 法人会員 33件 (5,000×42口=210,000)
利息	1,000	44	956	ゆうちょ定期貯金利息収入 (新規事業積立金特定預金)
収入合計	600,000	611,288	△ 11,288	
支出の部		(単位 円)		
内 容	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
ほのぼの発行費	45,000	44,452	548	ほのぼの発行費用(第40~42回) コピー用紙・カウント料金、郵送料
役員・総会費	40,000	29,430	10,570	総会案内ハガキ代、案内送付代、お茶代等
消耗品費	30,000	23,086	6,914	送付用ラベルシート、後援会用封筒(長3形)
利用者余暇支援費	50,000	43,000	7,000	利用者旅行負担金 (@1,000円×43人)
会員増強推進費	38,000	12,358	25,642	会費払込料加入者負担
イベント協賛費	250,000	245,621	4,379	しまのふれあいカフェのぼり4流れ(21,397円) かんたんテント一式(168,300円) HOGALAKA店頭パネル/リーフレット(55,924円)
雑費	10,000	1,348	8,652	残高証明書発行手数料(3通分)
新規事業積立金	100,000	100,044	△ 44	令和元年度末積立金残高 700,066円
予備費	37,000	0	37,000	
次年度へ繰越		111,949	△ 111,949	
支出合計	600,000	611,288	△ 11,288	

令和2年度 ふれあい工房後援会収支予算書		
自 令和2年4月1日		
至 令和3年3月31日		
収入の部		(単位 円)
内 容	予 算 額	備 考
前年度繰越金	111,000	
令和元年度年会費	400,000	一般会員1,000×200口=200,000円 法人会員5,000×40口=200,000円
事業収入	150,000	
預金利息収入	1,000	
収入合計	662,000	
支出の部		(単位 円)
内 容	予 算 額	備 考
ほのぼの発行費	48,000	年3回発行(7月,11月,3月) 16,000円(切手代、用紙代、コピーカウント料)×3回 その他
役員・総会費	40,000	総会1回 @30,000×1回、 役員会 @3,000×2回 その他
消耗品費	30,000	封筒購入費用他
利用者余暇支援費	50,000	利用者余暇活動への支援金
会員増強推進費	43,000	ふれあい工房商品券の発行 一般会員 @200円×100件×1回=20,000円 法人会員 @400円×20件×1回=8,000円 会費払込料加入者負担 15,000円
活動協賛費	250,000	ふれあい工房・後援会活動費用等
雑費	10,000	
新規事業積立金	150,000	
予備費	41,000	
支出合計	662,000	

令和2年度事業計画書	
自 令和2年4月1日	
至 令和3年3月31日	
ふれあい工房後援会	
1. ふれあい工房後援会令和2年度第1回役員会	令和2年6月
2. ふれあい工房後援会第10回定期総会	令和2年6月
3. 地域サポーター(島親制度)協働にて広島叡智学園除草作業	令和2年9月~
4. 大串地区オリーブ植栽(地域・広島叡智学園と協働にて)	令和2年10月
5. ふれあい工房利用者余暇支援	令和2年9月~11月
・年1回実施している利用者余暇活動への支援	
6. 会員増強キャンペーン実施	
・ふれあい工房商品券の発行	
一般会員及び法人会員へふれあい工房関連事業全店で利用できる商品券をほのぼの通信にて配布する。	
・会費徴収について	
会費納入の利便性を図るため、ほのぼの通信にて払込用紙を配布し、払込料加入者負担により会費を徴収する。	
7. ふれあい工房活動への協賛金支援	令和2年12月